

もっとリサイクル（プラスチック）

汚れが取りづらく燃やせるごみとしているプラスチックも再資源化できれば、もっとごみを減らすことができます。たとえば歯磨きやマヨネーズのチューブなどの汚れは「水にしばらくつけておく」と簡単に取れます。プラスチックの汚れを落とすことで資源ごみに変身します。もうちょっとだけ頑張ってリサイクルを進め、燃やせるごみを減らしましょう。



チューブをはさみで切ってみると、絞り切ったつもりでも、けっこう残っているもの。まだまだ何回分か使えます。お得です。

また、金属類や電池のような異物をしっかり分別するとともに、食品トレーやペットボトルなどはできるだけ買ったお店の回収ボックスを利用するなど、より効率的にリサイクルを進めることができます。

もっと減量（生ごみ）

燃やせるごみのおよそ3分の1が生ごみで、その70%が水分と言われています。燃やせるごみを減らすには、分別の徹底と共に「生ごみを減らす」ことがとても重要です。ご家庭で実践できる方策はいろいろあります。



ギュと絞って、水を切ります

- ・まとめ買いしない
- ・野菜くずなどが出ないように調理の工夫をする
- ・食べ残しをしない
- ・残ってしまった食べ物や、野菜くずはしっかりと水を切る
- ・野菜くず・果物くずや紅茶・コーヒー・麦茶・ウーロン茶のパック、茶がらなどは乾燥させる
- ・生ごみ処理機器を使う（乾燥処理、たい肥化処理、土中の微生物による分解）
- ・畑、庭、黒土などに埋める
- ・生ごみのたい肥化（ベランダたい肥、段ボールたい肥）

ごみ減量・リサイクル推進委員会……市民、事業者と行政が一体となって、ごみ減量とリサイクルの推進を図るために活動しています。次号以降もごみ減量に向けたメッセージをお届けします。

立川市  
総合リサイクルセンターだより

# 西砂からの風

2015年12月（第27号）

発行/立川市ごみ対策課

## 新たな取り組み たちかわ楽市 めいぐるみ特別回収 学生ゼミとの協働 「もったいない」をPR



●完熟たい肥の配布  
せん定枝を砕いたものと給食残渣などを発酵させた「たい肥の素」を熟成させて完熟たい肥。「リピーター」も多く、根強い人気があります。

●ぬいぐるみの特別回収  
通常であれば「燃やせるごみ」として処理されるぬいぐるみを特別に回収しました。来場した子どもに配ったり、リサイクル業者に引き渡した後、海外等で、リユース（再使用）されます。

●学生ゼミと協働  
ごみをつくらないライフスタイルの周知として若年層への啓発を進めるため、食品ロスについて研究し、途上国の食糧支援のため「幸せ・おすそわけプロジェクト」を立ち上げた創価大学学生と連携して「もったいない」という意識啓発を行いました。

